

(様式1)

令和2年度 岩手県立釜石高等学校（全日制）経営計画

校長：鈴木 広 樹

1 現状把握及び将来展望	(1) 学校に対するニーズ	児童生徒 ○ 学校生活の充実 ○ わかる授業と学力の向上 ○ 進路希望の実現	保護者 ○ 学校生活の充実 ○ 心身の健やかな成長 ○ 進路希望の実現	地域住民 ○ 地域活動への参加 ○ 地域社会に貢献できる人材の育成	他 ○ 社会人基礎力の育成 ○ 伝統の継承と更なる発展	
	(2) パートナーとの関係	P T A		同窓会	教育委員会	
		○ 教育活動への協力と支援 ○ 家庭学習への協力		○ 教育活動への協力と支援	○ 被災地の教育環境の充実やSSH事業の推進に係る人員配置と財政支援	
(3) 学校に影響を与える変化	○ 新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた教育活動 ○ 東日本大震災津波からの復興途上にある地域の生活・教育環境 ○ 少子化等による定員割れ及び生徒の多様化と学力差の拡大 ○ SSH事業による理数教育の充実と科学技術人材の育成 ○ いわて進学支援ネットワーク事業等による財政的支援と進路指導の充実 ○ 釜石祥雲支援学校高等部併置によるインクルーシブ教育の推進					
2 校訓・教育目標	校訓：『文礼一如』 ○ 「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成 ○ 豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成 ○ 広い視野を持ち、社会に貢献する人材の育成					
3 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標		達成指標		
		ア 授業の充実と基礎学力の定着を図る		・英語・数学・国語において、授業が分かったと答えた生徒の割合の平均【80%以上】		
		イ キャリア教育を充実させ、生徒の進路希望の実現を図る		・進学希望達成率【80%以上】 ・就職希望達成率【100%】		
		ウ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの未然防止を図る		・いじめの発見や予防に努めていると答えた生徒の割合【90%以上】		
		エ 学年間連携による協働的なゼミ活動を中心としたSSH事業を通して、科学技術人材の育成を図る		・ゼミ活動により、自ら学ぶ姿勢や協調的な態度が向上したと答えた生徒の割合【80%以上】		
	オ 「いわての復興教育」を推進し、地域を拓く人材の育成を図る		・地域の課題に対する理解が深まったと答えた生徒の評価の平均【3.5以上（5段階評価）】			
	(2) 取組方針	ア 授業の充実と基礎学力の定着を図る (ア) 互見授業・授業研究会や外部研修会等を通して授業改善を進め、授業力を高める (イ) 授業と連動した学習課題を計画的に課し、家庭学習習慣の確立と授業理解を図る イ キャリア教育を充実させ、生徒の進路希望の実現を図る (ア) 3年間を見通した進路指導計画・キャリア教育のもと、生徒の学力やニーズに応じた進路指導を展開する (イ) 各課・学年・教科が連携し、全職員による組織的な進路指導体制を構築する ウ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの未然防止を図る (ア) 授業や行事等を通して、「居場所づくり」と「絆づくり」を推進する (イ) 集会や特別活動等を利用し、いじめ問題についての啓発を図る エ 学年間連携による協働的なゼミ活動を中心としたSSH事業を通して、科学技術人材の育成を図る (ア) 地域の教育資源の活用や関係団体との協働・連携を推進する (イ) 全生徒・全職員によるゼミ活動の充実・発展に努める オ 「いわての復興教育」を推進し、地域を拓く人材の育成を図る (ア) 「いわての復興教育」プログラムに基づいた教育活動を推進する (イ) SSH事業における地域理解活動を通して、復興教育や防災教育の充実を図る				